

令和元年度 事業報告

I. 事業の概要

ハローワーク大館管内における令和2年度の有効求人倍率の推移をみると、4月の1.31倍を底に11月には1.57倍に上昇。土木・建築技術者や介護職を筆頭に多くの事業所で働き手の確保に苦慮する状況が続いた。

全国的な労働力不足を背景に高齢者活用を促進する厚生労働省は、平成28年の法改正により、シルバー派遣事業と職業紹介事業に限り、知事による地域や業種の指定を前提に、「臨時・短期・軽易」な業務に限定したシルバー会員の働き方拡大を可能としたところであり、昨年4月に秋田県下の全センターが多岐の業種で知事の指定を受けることができた。これにより、特にシルバー派遣事業の利便性が向上し、前年度実績並びに目標数値をも上回る好結果につなげることができた。

一方、請負・委任による受託事業の状況を見ると、気象統計史上まれにみる暖冬の影響で極端に降雪量が少なく、除雪作業に期待した会員を落胆させることになった。センターとしても大幅な収益減になるものと危惧したところであったが、春から初冬にかけて好天に恵まれ緑地管理等の屋外作業が増加。上半期の仕事量が貯金となり、前年度実績を上回る事業収入となった。

このように、シルバー派遣事業並びに受託事業ともに好成績を収めることができたが、その要因の一つに、少子化を背景にした労働力不足となっているところに会員数が前年度比20人増加したことが挙げられる。会員が増えたことで人手不足の事業所の一助となり、当地の基幹産業に位置付けられている農業分野においても数多くの要請に応えることができた。

また、市民生活のサポート役として四季折々で剪定や除草、家事援助等の要請に応えることができ、3年目の最終年となった「地域就業機会創出・拡大事業」においても空き家・空き地管理、高齢者世帯の生活支援やワンコインサービス等の実施により、介護保険や行政サービスの手の届かない分野を中心に活躍でき、利用者満足度調査でも高い評価を得ることができた。

次に、安全就業の取り組みについてだが、就業現場の抜き打ち巡回指導はじめ安全意識の喚起・高揚に向けて様々取り組んだものの、請負事業とシルバー派遣事業でそれぞれ2件ずつ、計4件の傷害事故が発生した。幸い何れも大事に至ることはなかったが、事故撲滅に向けて繰り返し訴え続けていく必要がある。

また、適正就業の推進については、偽装請負とみられることのないよう、秋田県シルバー人材センター連合会（以下「シルバー連合会」という。）の指導の下、既存の受注の見直しをはじめ、契約内容と就業実態を再確認し、必要に応じて発注者との見直し協議を進めた。

慢性的な人手不足の状況下、会員の増加は就業を通じて地域社会の活力維持に貢献し、会員の経済的自立と生きがい充実につながっている。同時に、センターの財政運営上も大きく寄与するところとなり、会員拡大が如何に重要であるか再認識する一年となった。

以下、具体的な取り組みについて報告する。

II. 事業実施状況

(1)シルバー事業の普及啓発

- ・当センターのホームページに、会員の就業活動やサークル活動はじめ会報の内容、各種講習の周知、入会説明会の案内、ワンコインサービスや仕事内容の紹介、年会費の夫婦割引制度などの情報を掲載した。また、事業計画や収支予算はじめ決算財務諸表並びに諸規程等も掲載し、透明性の確保に努めた。

- ・地元新聞社の協力により、定時総会や一斉奉仕作業の実施及び各種講習等が新聞記事として掲載され、広く市民各層に伝えることができた。また、当センター庭木班の雪吊り作業がテレビで放映され、丁度良い宣伝の機会となった。
- ・他団体が主催する行事の協賛広告や電話帳広告及び大館市ホームページにバナー広告を掲載したほか、市役所庁舎内の「大館市総合案内板」に当センターの位置図や業務内容などを掲載し周知した。
- ・18年ぶりに当市で開催された「秋田県種苗交換会」の折、役員らで会場となったニプロハチ公ドームに出向き、計3回にわたり大勢の来場者に向けてチラシ配布を実施した。
また、田代「たけのこ祭り」と比内「とりの市」にも役職員が出向き、来場者に向けてチラシと花の種やポケットティッシュを配布し、シルバー事業の周知を図った。さらに、買い物客で賑わう大型ショッピングセンター2店でも会員の協力を得ながらチラシ配布活動を実施した。
- ・既会員に対しては、年2回の会報発行及び地域班会議や職群班会議等を通じてシルバー事業に対する協力要請と参画意識高揚を図った。

(2)会員拡大と女性の入会促進

- ・大館市が発行する広報「おおだて」7月号で当センター入会促進用チラシを同時配布し、全世帯に向けて周知することができた。また、入会説明会の開催案内に関しても大館市広報を介して広く周知できた。
- ・入会促進用ポスターを独自制作し、10月の「シルバー普及啓発促進月間」期間中に、地域班正副班長及び役職員の手によって市民の目に触れやすい場所に掲示した。
- ・秋北バスの定期運行便に、シルバー会員募集の看板を掲げ市民の目に触れるようにした。また、当センター研修棟の外壁に、毎月の入会説明会開催日を周知するボードを貼り付け、通行人の目に触れるようにした。
- ・当センター研修棟で25回実施した「入会説明会」に53人来所した。また、ハローワーク大館の一室を借りて22回実施した「シルバー相談会」には34人来場し、シルバー事業の仕組み、運営理念など説明することができた。他にも、田代地区及び比内地区でもそれぞれ1回ずつ「出張相談会」を実施した。実施日等については新聞広告やホームページで周知した。
- ・女性の入会促進を目的に、60歳以上の一般女性を対象として「“きらめき世代”メイクアップ講座」を実施した。その時点での入会は無かったが、シルバー事業に対しては好意的な意見が多く、今後に期待している。
- ・他にも、会員による「一人がひとり入会促進運動」など、様々な取り組みの結果、会員数は前年度比20人増の611人となり、全国100万人会員に向けた2019年度目標は達成できた。
一方、女性会員の構成比については前年度比マイナス1.7%、5人減の160人に止まり、女性会員の拡大につなげることはできなかった。

(3)多様な就業機会の確保・拡大

- ・新聞の定期広告で除草や塗装、襖・障子貼り、農繁期の手伝い、墓掃除、空き家・空き地管理、ワンコインサービス、家事援助、年賀状筆耕などといった季節ごとに対応可能な職種を周知し、仕事の確保に努めた。
- ・高齢者活用・現役世代雇用サポート事業費補助金を活用し、就業開拓員による企業・団体訪問のほか、女性向きの仕事確保に向けて地域包括支援センターなど介護関連事業所にも周知を図った。また、就業開拓の際は、短時間の業務や繁忙期に限定されるスポット的な作業にも対応可能であることなど、シルバーの優位性を強調して就業開拓に当たった。
- ・他に、会員に対しても「1件1万円の仕事開拓運動」の協力要請などを行った結果、シ

ルバー派遣事業及び請負受託事業とも前年度実績を上回る受注につながり、人手不足解消の一助となったほか、センターの財政運営にも寄与することにつながった。

暖冬で除雪の依頼がほぼ無かった割に好成績を収めることができたのは、人手不足となっている雇用情勢の中、労働者派遣事業はじめ地域就業機会創出・拡大事業の実施で受注可能な職種が増加したことも要因の一つとみている。

(4)地域就業機会創出・拡大事業の取り組み

- ・実施3年目の最終年となった地域就業機会創出・拡大事業については、仕事を持つ家族に代わって要介護者の通院同行や見守りなどをシルバー会員が代行すること。加えて、障がい者や高齢者世帯を対象に、ちょっとした作業を500円で代行するワンコイン・サービスを実施。介護保険では対応しにくい分野で貢献してきた。

また、遠方で暮らす家族に代わって墓の管理や空き家・空き地管理、耕作されなくなった農地の管理などをシルバー会員が代行するなど、行政の手の届かない分野でも貢献している。

- ・これらの実施に関しては、広告やチラシの新聞折り込み、就業開拓員による地域包括支援センター等の訪問及び役職員による街頭宣伝活動等で周知してきたところであり、就業延日数及び利用者満足度調査とも目標を上回る好結果につながった。また、他団体との連携事業や会合等の機会に本事業の実施などを説明して理解浸透を図ってきたところであり、シルバー人材センター事業に対するイメージアップにも役立っている。

(5)安全・適正就業の推進

- ・安全・適正就業委員会が中心となって安全計画を策定。①ヘルメット着用の徹底、②高所作業の安全带使用の徹底、③脚立・梯子の正しい使用と開き止めの徹底、④交通法規の遵守、⑤転倒防止、の五つを重点事項に掲げ事故撲滅に向けて取り組んだ。

中でも、計画の重点に据えた安全就業対策部会と安全就業推進員による就業現場の抜き打ち巡回指導を5回実施し、作業環境の確認と保護メガネの使用や器具機材の点検などにも徹底して取り組むよう呼びかけてきた。

さらに、安全だよりの発行及び地域班会議や職群班会議の機会を捉え、熱中症予防はじめ感染症防止対策や転倒防止にも努めるよう呼びかけた。

- ・シルバー派遣事業における安全推進については衛生委員会を9回開催し、そのうち1回を派遣先事業所訪問にあて、就業現場の環境確認や会員の就業状況の把握に努めた。

また、派遣元であるシルバー連合会の指導のもと、該当する派遣就業会員の健康診断を実施。産業医による確認・アドバイスなど受けることができた。

- ・他にも、シルバー連合会主催の安全就業推進大会への参加及び安全標語の募集、さらにシルバー連合会の「安全適正就業対策部会」による巡回指導に同行し、安全就業の徹底を呼びかけた。また、7月の「安全就業強化月間」に合わせて「安全激励会」を実施。センター駐車場に集まった40人程の会員と安全・適正就業委員会のメンバー及び職員も加えて事故撲滅に向けた取り組みを確認し、安全就業の徹底を誓い合った。

以上の取り組みにより事故撲滅を目指してきたところであるが、残念ながら熱傷、転落など合計4件（請負2件、派遣2件）の傷害事故が発生した。幸いなことに何れも軽傷で済み4人とも元気に回復している。

- ・一方、賠償責任事故については、前年度に「発生ゼロ」を達成したところであったが、今年度は乗用芝刈り機による「石跳ね事故」が1件発生し、駐車中の乗用車を傷つけてしまった。程なく示談に至ったが、過去の例を見ても刈払い機による「石跳ね事故」が多発しており、対策の必要性を痛感している。
- ・適正就業の推進については、秋田労働局とシルバー連合会の指導の下、偽装請負とみられ

ることがないよう契約書の内容と就業実態を再確認し、必要に応じて発注者側と交渉のうえ見直しを図った。また、警備業法や運送法等に抵触する恐れのある仕事は排除し、指揮命令性のある仕事についてはシルバー派遣事業で取り扱うよう進めている。加えて、新規の発注者に対しては「適正就業ガイドライン」を活用し説明してきた。

- ・他に、「臨時・短期・軽易な業務」の法令順守と就業機会の公平性確保のために、一つの仕事を複数の会員が交代で働くローテーション就業を推進している。

(6)連合会主催の講習事業と自主企画講習の実施

- ・シルバー連合会主催で、当市を会場に「清掃補助員講習」と「豊かなシニアライフに向けたセミナー」が開催された。受講者のうち3名が新規会員となり、今後も入会につながるものと期待している。
- ・当センター独自の講習では、資生堂ジャパン社の協力により、60歳以上の一般女性を対象にした「きらめき世代メイクアップ講座」を実施した。募集定員を超える16人の参加者があり、その際に実施したアンケート調査の結果、シルバー事業に対しては一様に好意的であったものの、いざ入会となると「シルバーの名称が年寄り臭い」との理由で躊躇する意見が見られた。

女性の取り込みによる会員拡大を目指しているところだが、どのようにすればシルバー人材センターの良さが伝わるのか、難しい課題と感じている。

他にも、秋田ふきのとう県民運動実行委員会との共催により「ゲートキーパー養成講座」を実施したところ、地元新聞社による周知協力のお陰で一般市民及び会員を合わせて80人の受講者があった。一般市民にも呼び掛けることにより、シルバー人材センター事業に対する理解浸透が図られることに期待している。

(7)地域関係機関との連携

- ・大館市高齢者活躍支援協議会とハローワーク大館及び大館市の共催により実施された「“生涯現役”合同企業面談会」に当センターも参加。シルバー人材センターコーナーを設置し、求職者との面談ができた。また、同じく大館市高齢者活躍支援協議会と大館市が主催した「高齢者との働き方シンポジウム」にも当センターが参加。三部構成で実施されたシンポジウムでは、高齢者活用を進める地元の企業・団体とともに当センターもパネリストとして同席。シルバー人材センターが実施する労働者派遣事業や会員確保の取り組み、課題などについて説明・発信することができた。
- ・他に、大館市と秋田労働局の連携で、若者の地元就職やAターンの推進、女性・高齢者、福祉関係支援者等の労働力掘り起しを図る目的で設立された「大館市雇用対策協定運営協議会」の構成員、及び自治体や商工団体などが実施する雇用対策事業等に関する情報交換のため、ハローワーク大館が主催する「大館・北秋地域雇用対策連絡会議」の構成員にも選出され、会合の機会を通じてシルバー人材センター事業への理解浸透を図ることができた。
- ・また、高齢者の生活支援体制整備の推進を目的に、大館市社会福祉協議会が核となって設置した「大館市支え合い推進会議 第1層協議体」の構成員に当センターが選出されており、大館市における介護予防事業の取り組み状況の把握と、同席の構成団体や各地域の包括支援センターに対し、シルバー会員の活動やワンコインサービスをはじめとした高齢者支援事業についても説明・発信することができた。

(8)組織の活性化と財政安定化への取り組み

- ・理事の所掌事務分担はじめ、地域班や職群班への関わり、役職員による街頭宣伝活動など、役員は会員の模範となるよう率先して事業活性化に向けて取り組んできた。また、地域班正副班長による地域毎の会議の企画、一部職群班による見積もり作業やクレーム処理

など、まさしく「自主・自立、共働・共助」の運営理念を実践している。

- ・財政安定化に関しては、前年度並みの補助金の確保ができたことに加え、近年の人手不足を背景に受注量が伸びたこと、及び会員数の増加がそのまま労働力不足の助けとなったことでセンター運営費の増加につながった。このような結果を受け、財政安定化のためには会員増強が如何に大切か、再認識するところとなった。

III. 事業目標及び前年度との比較報告

- ・令和元年度の目標値と前年度実績値との比較（上段：受託事業、下段：派遣事業）

項目	目標値との比較増減(-)	令和元年度目標値	令和元年度実績	前年度実績	前年度との比較増減(-)
会員数	-11人	622人	611人	591人	20人
受託事業受注額	-6,833千円	236,650千円	229,817千円	218,539千円	11,278千円
請負事業就業延日数	-8,125人日	49,221人日	41,096人日	42,247人日	-1,151人日
就業率	-13.9%	87.1%	73.2%	73.1%	0.1%
派遣事業受注額	7,403千円	52,950千円	60,353千円	54,079千円	6,274千円
派遣事業就業延日数	658人日	8,500人日	9,158人日	8,612人日	546人日

(1)請負受託事業の推移（直近の5年間）

項目	会員数(人)	増↑減↓	就業延人数(人日)	増↑減↓	受託契約高(千円)	増↑減↓
平成27年度	585	↓	44,515	↓	212,731	↓
平成28年度	579	↓	44,320	↓	214,504	↑
平成29年度	580	↑	44,247	↓	221,157	↑
平成30年度	591	↑	42,247	↓	218,539	↓
令和元年度	611	↑	41,096	↓	229,817	↑

(2)シルバー派遣事業の推移（直近の5年間）

項目	派遣就業の登録会員数	増↑減↓	就業延人数(人日)	増↑減↓	派遣契約高(千円)	増↑減↓
平成27年度	129	↑	2,612	↑	16,723	↑
平成28年度	155	↑	4,430	↑	27,419	↑
平成29年度	171	↑	7,511	↑	45,117	↑
平成30年度	210	↑	8,612	↑	54,079	↑
令和元年度	229	↑	9,158	↑	60,353	↑

IV. 具体的報告

1. 会員の状況

(1)月別入会・退会状況と会員数

平成31年4月1日～令和2年3月31日

項目 月別	新規入会者数			退会者数			差引在籍会員数		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	合計
前年度	43	26	69	43	15	58	426	165	591
4月	32	8	40	38	23	61	420	150	570
5月	3	1	4	0	0	0	423	151	574
6月	6	0	6	1	0	1	428	151	579
7月	8	2	10	0	0	0	436	153	589
8月	5	0	5	0	0	0	441	153	594
9月	4	2	6	0	0	0	445	155	600
10月	2	4	6	0	0	0	447	159	606
11月	5	0	5	3	0	3	449	159	608
12月	1	0	1	0	0	0	450	159	609
1月	2	0	2	2	0	2	450	159	609
2月	1	1	2	0	0	0	451	160	611
3月	0	0	0	0	0	0	451	160	611
累計	69	18	87	44	23	67	451	160	611

[地区別会員数]

- ・大館地区 451人 (男337人、女114人) 73.8%
- ・田代地区 81人 (男58人、女23人) 13.3%
- ・比内地区 79人 (男56人、女23人) 12.9%

(2)会員の年齢分布

(単位：人、歳)

項目	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	平均年齢	最高年齢
男性	0	27	100	179	96	49	451	72.9	89
女性	0	4	37	40	52	27	160	74.4	89
計	0	31	137	219	148	76	611	73.3	89
比率	0.0%	5.1%	22.4%	35.8%	24.2%	12.4%	100.0%	—	—

(3)入会動機別会員数

(単位：人)

項目	生きがい 社会参加	仲間作り	時間的余裕	健康維持増進	経済的理由	その他	合計
男性	77	23	96	141	105	9	451
女性	33	5	30	54	36	2	160
計	110	28	126	195	141	11	611

(4)職歴別会員数

(単位：人)

項目	会社員等				公務員				自 営	無 職	合計
	事務系	技術系	その他	小計	事務系	技術系	その他	小計			
男性	50	255	69	374	32	15	2	49	28	0	451
女性	26	78	31	135	3	2	1	6	16	3	160
計	76	333	100	509	35	17	3	55	44	3	611
構成比	83.3%				9.0%				7.2%	0.5%	100.0%

(5)会員の希望職群（第一希望）

(単位：人)

項目	技術群	技能群	事務整理群	管理群	折衝外交群	一般作業群	サービス群	その他	合計
男性	45	64	9	145	1	184	2	1	451
女性	4	1	7	4	1	107	36	0	160
計	49	65	16	149	2	291	38	1	611

(6)退会した会員の退会理由

(単位：人)

項目	病気	加齢	死亡	就職	家庭の 事情	希望する 仕事なし	就業機 会なし	会費未納	その他	合計
男性	17	5	3	9	1	0	4	0	5	44
女性	11	6	0	1	2	0	1	0	2	23
計	28	11	3	10	3	0	5	0	7	67

2. 受託事業（請負委任）の実績報告

(1)仕事の分類別、公共・民間別の受注状況

（上段→仕事の分類別、下段→公共・企業・家庭別）

令和2年3月31日現在

区分	項目	受注件数 (件)	就業延 日人員 (人日)	契 約 金 額 (円)			
				配 分 金	材 料 費 等	事 務 費	合 計
仕 事 の 分 類 別 実 績	管理的業務	0	0	0	0	0	0
	専門的・技 術的業務	1	2	4,050	0	450	4,500
	事務的業務	159	595	792,871	8,209	81,594	882,674
	販売の業務	3	16	55,743	0	5,547	61,290
	サービス業務	279	13,910	70,211,114	158,899	7,602,844	77,972,857
	保安の業務	0	0	0	0	0	0
	農林漁業の業務	561	4,385	24,993,166	4,038,099	3,711,726	32,742,991
	生産工程の業務	162	610	4,040,300	3,686,714	763,318	8,490,332
	輸送・機械 運転の業務	0	0	0	0	0	0
	建設・採掘 の業務	97	154	729,600	679,479	126,990	1,536,069
	運搬・清掃・ 包装等の業務	1,294	21,424	85,640,462	8,183,486	14,302,235	108,126,183
上 段 計	2,556	41,096	186,467,306	16,754,886	26,594,704	229,816,896	
公 共 ・ 民 間 別 実 績	下 段 計	2,556	41,096	186,467,306	16,754,886	26,594,704	229,816,896
	公 共	203	14,345	61,002,959	5,049,671	10,262,438	76,315,068
	企 業 等	651	19,628	93,412,166	3,853,339	11,779,793	109,045,298
	個人・家庭	1,702	7,123	32,052,181	7,851,876	4,553,473	44,457,530
	独 自 事 業	0	0	0	0	0	0

(2)履行期間別受注件数

10日未満	10日以上 1ヶ月未満	1ヶ月以上 3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上	合 計
2,256件	49件	30件	61件	160件	2,556件
88.3%	1.9%	1.2%	2.4%	6.3%	100.0%

3. 労働者派遣事業の実績報告

令和2年3月31日現在

派遣登録会員数(人)			契約件数(件)			受注金額(円)			就業 実人員 (人)	就業延 日人員 (人日)
男	女	計	公共	民間	計	公 共	民 間	計		
161	68	229	3	58	61	2,256,962	58,095,721	60,352,683	148	9,158

4. 地域就業機会創出・拡大事業の実績報告

平成31年3月31日現在

項 目	ワンコイン サービス	高齢者生活支援	空家・空地管理	耕作放棄地管理	墓の管理	計
受託件数	40	59	113	15	51	278
就業延日人数	120	178	259	51	63	671

5. 事故報告

(1) 傷害事故

第1号 男性 79才 ※シルバー派遣事業 通勤

事故日時 令和元年5月14日(火) 午前8時頃

発生状況 就業先の駐車場に到着し、指定場所に自家用車を駐車する際に誤ってアクセルを踏み込んでしまい、深さ2mほどの排水溝に車ごと転落。

傷害状況 頸椎捻挫、両手甲擦過傷。通院4日。治癒(休業22日)

第2号 男性 70才 ※シルバー派遣事業 就業中

事故日時 令和元年6月8日(火) 午前9時30分頃

発生状況 小豆を蒸す作業中、バケツを取ろうとした際に足を蒸気吹き出し口の下に入れてしまい長靴の中に高温の蒸気を吹き込ませてしまった。

傷害状況 右足甲熱傷ii度。通院4日。治癒。

第3号 女性 83才 ※請負受託事業 就業中

事故日時 令和元年8月9日(金) 午前11時30分頃

発生状況 除草作業中、庭木に絡んだ蔓を除去しようと枝を煽ったところ、ハチに攻撃されて刺された。

傷害状況 顔面左眉付近虫刺傷。通院1日。治癒。

第4号 男性 77才 ※請負受託事業 就業中

事故日時 令和元年9月30日(月) 午前8時30分頃

発生状況 塗装作業中、道具交換のため大屋根から下屋根に降りる際、脚立梯子の下段を踏み外して転倒。はずみで玄関庇に転落し、そこから約2.5m下の地面に落下。そこに脚立梯子が落ちてきて頭部に当たった。

傷害状況 腰部、腹部打撲。頭頂部擦過傷。通院2日。治癒。

(2) 賠償事故

1件発生 男性 80才 ※請負受託事業 就業中

事故日時 令和元年6月5日(水) 午前11時30分頃

発生状況 芝刈り作業中、乗用モアの回転刃で石を弾き飛ばした模様。近くに止めてあった乗用車のドアを傷つけた。

損害額 77,836円。示談済。

6. ワークプラザ棟利用状況

部屋別	利用回数	利用目的
作業室	271	庭木班・塗装班準備ミーティング、清掃準備、機材整備他
研修室	208	会員昼食、地域班・職群班会議、入会説明会、サークル活動、打合せ他
講習室	169	襖・障子・網戸張り、市・県広報仕分、講習、電話帳・チラシ等仕分け
会議室	123	理事会・監査会、諸会議、検査・指導、就業説明、手芸サークル他
合計	771	

7. 主催した主な会議

①定時総会（会場：ホテルC P秋北） 総会員574人中、385人出席。（委任状157人、書面表決120人）

議案：平成30年度事業・収支決算承認、定款変更、役員改選、31年度事業計画・収支予算報告

②理事会 6回

第1回：監事報告、平成30年度事業報告・決算報告、定款一部変更、定時総会上程議案、他

第2回：代表理事（会長）、副会長、業務執行理事（常務理事）選任

第3回：理事の所掌事務分担、奉仕作業日程、会議出席に伴う諸経費の支出等に関する規程の改正

第4回：第1次補正予算、財務規程改正、給与規程改正、就業規則改正、退職手当支給規程の改正

第5回：監事報告、第2次補正予算、給与規程改正、地域班正副班長会議日程等、他

第6回：第3次補正予算、総会日程等、給与規程改正、就業規則改正、育児・介護休業等の規程制定、令和2年度事業計画・収支予算承認、他

③監査会 2回 平成30年度事業・会計監査、令和元年度上半期監査

④三役会議 1回 車輛リース契約、他

⑤理事及び監事選考委員会 3回 ※総会における役員改選に向けた協議

⑥安全・適正就業委員会 1回 ※令和元年度の安全計画策定、他

※就業現場の抜打ち巡回指導5回実施（7月11日～10月3日までの期間）

⑦衛生委員会 9回（派遣先事業所訪問含む）

⑧総務部会 2回（部長・副部長選任、第1次中期計画報告、第2次中期計画策定、他）

⑨事業部会 1回（部長・副部長選任、役員宣伝活動、ポスター制作、他）

⑩広報部会 4回（部長・副部長選任、会報おおだて77号、78号発行、他）

⑪女性部会 1回（部長・副部長選任、女性会員の確保、メイクアップ講座の対応、他）

⑫地域班正副班長会議 1回（100万人会員目標、安全就業、地域班会議の企画、適正就業、他）

⑬地域班会議（安全・適正就業、会員勧誘、他）※全22班中、7班で新型コロナウイルス感染防止のため中止

- ⑭職群班会議（安全対策、マナー向上、受注目標、仲間意識の醸成、会員勧誘要請、他）
※庭木班1回、塗装班1回、除草班1回開催
- ⑮事務局会議 6回（債権回収、剰余金費消計画、事業計画・予算、総会対応、会員確保、他）

8. 実施した主な行事

- ①安全就業強化月間「安全激励会」
※令和元年7月1日、仕事に向かうためセンター駐車場に集まった会員と安全委員のメンバーらで、事故防止への取り組みを誓い合いった。
- ②きらめき世代「メイクアップ講座」 令和元年7月18日実施
会場：大館市シルバー人材センター講習室 一般女性16名受講
講師：資生堂ジャパン(株) 秋田オフィス・インストラクター
- ③「心はればれゲートキーパー養成講座」 令和2年1月27日実施
会場：大館市立中央公民館 80名受講
講師：秋田ふきのとう県民運動実行委員会派遣の講師
- ④役職員街頭宣伝活動
※田代たけのご祭り、秋田県種苗交換会、比内とりの市、イオンスーパーセンター、イトクショッピングセンターでチラシ、ポケットティッシュ、花の種など配布

9. ボランティア活動

- ①第39回「一斉奉仕作業」 ※7月6日実施 会員580人中、189人参加

・長根山運動公園 59人参加	・鳥潟会館庭園 10人参加
・ニプロハチ公ドーム 33人参加	・ふれあいセンターやまびこ 12人参加
・ニツ山総合公園 13人参加	・田代公園、田代総合支所 24人参加
・真中グランド 16人参加	・扇田ふれあい公園 22人参加

 ・桂城公園の松の剪定 ※庭木班が担当（参加者数は各地区へ振り分け）

10. 他団体との連携

- ①「大館市高齢者活躍支援協議会」との連携
 - ・高齢者の就職促進のため、各種セミナーの開催やマッチング事業を展開。
 - ・構成：大館商工会議所、大館北秋商工会、JAあきた北、秋田銀行大館支店、ハローワーク大館、大館市シルバー人材センター。
 - ・令和元年11月21日、HW大館主催、大館市高齢者活躍支援協議会共催の「“生涯現役”合同企業面談会」に参加。20事業所が参加し求職者は29人来場。うち、シルバーコーナーに2人の相談者。
 - ・令和2年2月7日、大館市高齢者活躍支援協議会主催の「高齢者との働き方シンポジウム」に、当センターがパネラーとして参加。
- ②「大館市雇用対策協定運営協議会」との連携
 - ・若者の地元就職とAターン推進、女性の活躍に向けた就労整備、高齢者の就労支援、福祉関係支援対象者の就労支援を図るためマッチング事業などを行う。
 - ・運営の主体は大館市と秋田労働局。
 - ・構成：ハローワーク大館、大館市産業部商工課、移住交流課、福祉課、子ども課、大館北秋雇用開発協会、秋田県ふるさと定住機構あきた就職活動支援センター、秋田職業能力開発短期大学校、秋田看護福祉大学、大館市シルバー人材セン

ター。

③「大館・北秋地域雇用対策連絡会議」との連携

- ・慢性的な労働力不足を背景に、地域の関係機関の緊密な連携により機動的かつ効果的な対策の推進を図るため、大館公共職業安定所が中心となって設置した協議体。
- ・構成：北秋田地域振興局、大館市、北秋田市、上小阿仁村、大館商工会議所、北秋田市商工会、大館北秋商工会、上小阿仁村商工会、産業雇用安定センター、中小企業団体中央会、大館市シルバー人材センター、北秋田地域シルバー人材センター、ハローワーク大館・鷹巣。

④大館市支え合い推進会議「第1層協議体」との連携

- ・大館市社会福祉協議会が核となって運営される協議体。大館市における高齢者の生活支援体制の整備に向けた助け合いの推進、介護予防、高齢者の居場所作り等に取り組むもの。定期的な会議の開催及び先進事例の紹介・視察などを実施。
- ・構成：各地域包括支援センターはじめ、町内会長、民生児童委員、福祉員、商工団体、警察機関、消防団、福祉関係行政機関、地縁組織、老人クラブ、ボランティア団体、シルバー人材センター。

11. 他団体が主催した会議・研修等の出席

注・全シ協＝公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会

・東北シ協＝東北シルバー人材センター連絡協議会

・連合会＝公益社団法人 秋田県シルバー人材センター連合会

- ①全シ協主催「就業機会拡大大会」（東京連合会館）
- ② 〃 「シルバー派遣実務担当者会議」（東京連合会館）
- ③ 〃 「会計・経理実務担当者会議」（東京連合会館）
- ④ 〃 「中堅職員研修」（東京すみだ産業会館）
- ⑤東北シ協主催「理事長等役員・事務局長合同研修会議」（弘前市）
- ⑥東北シ協主催「職員研修会」（山形市）
- ⑦宮城連合主催「職員研修会」（仙台市）
- ⑧連合会主催「令和元年度定時総会」（秋田市）
- ⑨ 〃 「理事長等役員・事務局長合同研修会」（秋田市）
- ⑩ 〃 「理事会」4回（秋田市）
- ⑪ 〃 「理事長・会長会議研修」（秋田市）
- ⑫ 〃 「事務局長会議」2回（秋田市）
- ⑬ 〃 「ブロック担当者会議」（北秋田市）
- ⑭ 〃 「経理担当職員研修」（秋田市）
- ⑮ 〃 「職員研修（キャリアコンサルタント他）」（秋田市）
- ⑯ 〃 「派遣実務担当者会議」2回（秋田市）
- ⑰ 〃 「中長期的なシルバー人材センター組織の在り方検討会」（秋田市）
- ⑱ 〃 「安全就業推進大会」（秋田市）
- ⑲ 〃 「シルバー女性部会担当者会議」（秋田市）
- ⑳ 〃 「安全・適正就業対策部会」2回（秋田市）
- ㉑ 〃 「安全・適正就業対策部会による安全巡回」※鳴海会長、安達局長
- ㉒ 〃 「先進地視察研修」（五所川原市SC、弘前市SC訪問）※鳴海会長
- ㉓「県北地区SC職員研修」（能代市SC、北秋田地域SC、鹿角地域SC）
会場：当センター

- ⑳労働局主催「高年齢者雇用管理セミナー」（中央公民館）
- ㉑ 〃 「働き方改革関連法に係る説明会」（プラザ杉の子）
- ㉒ハローワーク主催「大館・北秋地域雇用対策連絡会議」5回
会場：大館市又は北秋田市
- ㉓秋田県主催「公益法人運営セミナー」（秋田県庁）
- ㉔大館市主催「大館市高齢者活躍支援協議会」総会（ホテルC P秋北）
- ㉕社会福祉協議会「大館市支え合い推進会議」（第1層協議体）3回（上川沿公民館）
- ㉖N R I 社主催「エイジレス80ユーザー研修」（秋田市）

12. 秋田県シルバー人材センター連合会主催の講習等（大館市で実施した講習）

(1)高齢者活躍人材確保育成事業

- ①清掃補助員講習 6月20日・21日
- ②シニアライフ講座「豊かなシニアライフに向けて」 9月9日

13. 検査・指導、要請活動

- ①顧問税理士による指導・検査（4回）
- ②秋田労働局による事務指導（10月29日）
- ③秋田県による「公益法人立ち入り検査」（11月14日）
- ④名村副市長と面談（9月5日）※全シ協総会決議文の手交とシルバー支援の要請

14. 義務的講習等

- ①シルバー派遣「派遣元責任者講習」（仙台市）
- ②安全運転管理者講習（大館市）

15. マスコミ取材報道

- ①当センター令和元年度「定時総会」の新聞報道。
- ②7月に実施した「第39回一斉奉仕作業」の新聞報道。
- ③当センターが実施した「きらめき世代メイクアップ講座」の新聞報道。
- ④大館市高齢者活躍支援協議会の「働き方シンポジウム」の新聞報道。※パネリストで参加
- ⑤当センターが実施した「ゲートキーパー養成講座」の新聞報道。
- ⑥シルバー連合会主催の「シニアライフ講座」の新聞報道。※当センター会員がパネリスト
- ⑦当センター庭木班の樹木雪囲作業風景がテレビで放映。（秋田朝日放送）